

## 7月定例活動「インタープリター入門」

太田 貴大

7月27日の定例会「インタープリター入門」の報告です。

まずインタープリテーションとは、自然環境の単なる情報の提供でなく直接体験や教材を通し、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにすることを目的とした教育活動のことです。今までの自然観察のような受身な状態とは全くちがうということが重要です。講師には、インタープリターとして活躍されている原田さんと篠田さんをむかえました。

午前中は原田さんの指導の下、オアシスの森のなかでインタープリテーションをしたい場所を探しました。トンボ池と手入れされた林が候補にあがりました。そのときに過去にくらぶが作ったトンボ池を見て回りましたが、七年も前に作ったと聞いて、

今年くらぶに入った私は、再度くらぶの歴史と行動力を感じました。



トンボ池 翻む原田さんと員たち。

午後は、その二か所に分かれて、どのようにインタープリテーションするかを考え、篠田さんの指導の下一人づつ実際にやってみました。ただ知識を伝えるのではなく、どう伝えたらよいのかを、学ぶことが出来ました。その場所の歴史や変遷といったことを含めると良いという指導をいただき、オアシスの森周辺の移り変わりマップの製作案でもでした。

オアシスの森で行ってきた様々な活動に対して、みなさんにより興味関心を持っていただけるように伝える方法を学ぶことが出来て、とても有意義な会となりました。皆さんも一度インタープリターとして、オアシスの森のお気に入りの場所を表現してみませんか？

## 雑木林楽団「竹音器's in 帯広!!

運営委員長 西村文利

雑木林楽団「竹音器's」が船出をしました。2000年の1月、竹から作った楽器ばかりの世界的に有名な楽団のコンサートを体験し、「わしらもやるまいか」と始まった、雑木林楽団「竹音器's」が、去る9月の22日、北海道の帯広で開かれた第10回全国雑木林会議で、初めての演奏を披露してきました。



帯広での演奏風景。

お世辞にも、「上手」とは言いにくい演奏だったとは思いますが、柴田先生の「技術よりも、ハート」は、何とか出来たかな、と思います。

私たち楽団の出発は、その時の楽団の代表であった、柴田旺山先生にご指導をお願い。快諾を得て、先ず、すでに実践している九州の活動の状況調べ、岡部町の活動を見学することから始めました。

以下、これまでの経過を列記してみます。  
2000.12 猪高で竹伐り。

2001.02 東郷で伐った竹の抜き・あぶり。

04 『なごやテレビ春まつり』柴田旺山先生のコンサート、ワークショップ。

06 長久手で、オープンセミナー。初めての「マリンバ」完成。

07 雑木林楽団「竹音器's」結成

総会。

...以後毎月第三日曜日、定例活動。マリンバ作りに励む。

05 柴田先生のご指導のもと、演奏練習に入る。...以後隔週、全体練習。

09 帯広で、初めての演奏。『ふるさと』『浜辺の唄』『土を向いて歩こう』の3曲。

この後、10月には、なごや西の森、足助で演奏の予定です。

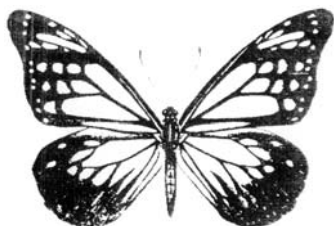
「竹を伐り、その竹で楽器を作り、その楽器で演奏する。」

この三つの分野での達人になることを目標に、今後も活動していきます。

竹音器'sは、10月のどんぐり祭りでも演奏予定です。お楽しみに!!

## 森の住人たち ~アサギマダラ~ アサギマダラ マダラチョウ科

開長 10cm

分布 日本全土(北海道ではまれ)  
食草 キジョラン、カモメヅル、イケマなど

秋、アサギマダラが相生山緑地にやって来る。水色とチョコレート色のシックな色合いのチョウが、ふわふわ舞うように森の木立の合間や草地を飛ぶ。

アサギマダラと初めて出会ったのは10年前。豊橋と伊良湖岬の中間にある蔵王山へ知人の運転する車で登ったときのことである。ゆるやかな坂を登ると、目の前に無数のチョウの群れ。独特の飛び方と水色の羽に「アサギマダラ!」と叫んでいた。実物を見るのは始めてだったが、すぐ記憶のなかの図鑑の写真と一致し理解する。何十頭ものチョウを見ながら知人たちと「すごい!」「壮観!」の連呼。その後、アサギマダラの渡りのルートで

ある伊良湖岬・南知多とそれぞれ2度訪れているが、あの日のような大群には出会っていない。

全国各地でアサギマダラのマーキング調査が行われている。移動のルートや実態の解明をするためである。南知多で知人がマーキングしたアサギマダラが鹿児島県喜界島で捕獲された。1000kmにおよぶ渡りである。小さな命のどこにそのエネルギーが秘められているのか。移動時どのように方角を知り、どのように命をつないで長旅をするのか、なぜであるという。神秘とロマンのアサギマダラである。

(文責 近藤 記巳子)